

eco-op

環境活動の 手引き

“環境活動、何したらいいの？”

“いろいろな環境活動知りたい！”

——そんなあなたに読んでほしい
とっておきの1冊です

巻頭挨拶

このたび、全国大学生生活協同組合連合会（全国大学生協連）では、「大学生協環境活動の手引き ECO-OP」を発行することとなりました。

全国大学生協連は、2006年に「21世紀を生きる大学生協の4つの使命8つのビジョン」を定めました。そこでは、「人と地球にやさしい持続可能な社会をつくる大学生協」をめざし、組合員の協同体験を広めて、多くの組合員に環境活動への参加を呼びかけています。そして、地球温暖化防止にむけて、組合員とともに温室効果ガスを削減し、循環型社会・低炭素社会など、持続可能な社会づくりに努力しています。

昨今、多くの大学生協では、組合員の環境活動への問題意識や興味関心の高まりとともに、レジ袋の削減や弁当容器のリサイクル、割り箸回収、リユース市など、多彩な環境活動が取り組まれるようになってきています。

しかしながら、全国の大学生協がこれらの取り組みを広く交流する場はまだ限られており、「環境活動に関心があるが何から行動したら良いか、わからない」「もっとどんな活動ができるのか知りたい！取り組み事例が知りたい！」という声も聞かれるようになっていきます。

そこで、さまざまな環境活動の概要やポイント、実践事例などを広く集めて、全国の大学生協の仲間が「私たちも環境活動に取り組みたい」「環境活動をもっと発展させるために情報が欲しい、もっと学びたい」と思ったときに手にとってもらえるような、そして、そこから新たな活動のヒントを得られるような環境活動の手引きを作成することとしました。

「大学生協環境活動の手引き ECO-OP」が、全国の大学生協の環境活動を励まし、環境活動を一步前にすすめるきっかけとなることを期待しています。

東北大学生生活協同組合 専務理事
2016年度全国環境活動委員会
委員長 峰田 優一





～eco-opの使い方～

■「eco-op」発行目的

環境活動の意義とやりがい、そして具体的な活動例を伝えることで、全国大学生協連の各会員生協での積極的な環境活動の実践を促すために、全国環境活動推進委員会としてこの冊子を発行します。

■主に対象としている悩み

「環境活動を行う理由が分からなくなった」

⇒**3ページ**「**環境活動を頑張っている人達との座談会**」

12ページ「**大学生協として環境活動を行う意義**」

の記事を読んでみましょう！

「自分達にどんな環境活動ができるのか分からなくなった」

⇒**20ページ**「**全国の環境活動実践例**」

の記事を読んでみましょう！

■使い方例

- 環境活動について新入学生委員に説明する際の参考として！
- 活動例を見て自分達の取り組みの幅を広げる！
- とりあえず読んでみてモチベーションを上げる！ …etc

～目次～

- 1P 巻頭挨拶
- 2P この本の使い方&目次
- 3P～環境活動を頑張っている学生と会員専務などとの座談会
- 7P 寄稿：東北ブロックでの取り組みについて
- 8P～現代の環境問題について
- 12P～大学生協として環境活動を行う意義
- 15P～環境活動とは何か？
- 17P～JUON(樹恩)NETWORK 紹介
- 20P～全国の取り組み紹介

環境座談会

◆今年度、全国環境セミナーを開催した宇都宮大学の皆さんを交え、「環境活動のやりがい」をテーマとした座談会を行いました。



宇都宮大学生協
学生委員会
2年 井東蒼亮さん

宇都宮大学環境改善
学生サポーターECHO
3年 大井太士郎さん

宇都宮大学生協
専務理事
渡邊陽一さん

JUON(樹恩) NETWORK
事務局長 鹿住貴之さん

※司会：川岸(連合会) 補佐：大槻(連合会)

所属団体の紹介と環境活動について

井東 宇都宮大学学生委員会 C.C.S では、昔から環境活動をやっているそうです。主に行っているのは、Dappy (リサイクル弁当容器リ・リパック) と割り箸の回収や Dappy を使った投票企画、購買の売り上げに還元できる企画です。去年一昨年には、環境に関することを広報する環境通信を作成していました。

大井 宇都宮大学環境改善学生サポーターECHO は、2008 年頃に当時国際学部の高橋若菜先生のゼミに所属していた一人の学生が立ち上げた団体です。大学の学長に環境活動をしたいと直接お話しされて、サークルではなく大学の組織になりました。当時は学生が 50 人くらいいてとても多かったそうです。主な活動は、Dappy の回収、学祭でのごみ分別の取り組みです。

渡邊 大学も環境活動に理解があるように感じます。他の大学は、あまり学内にたくさんごみ箱を置きたがらないと思うけど、宇都宮大学には各学部棟にすごい量のごみ箱や Dappy の回収箱が設置されています。

大井 先輩方の功績が大きかったと思いますね。

渡邊 やっぱり人数が少なくて困った年もあったの？大井君の時はどうだった？

大井 今は、全体で 20 人程度です。2009 年当時の議事録とかを見ると、今の 2、3 倍は活動していたようです。部会の板書資料だけでなく、一人ひとりが調べた内容の補足資料なんかも書類として残っています。

渡邊 今中途半端になっているのが 2 つあって、一つはごみの分別です。生協では、事業系のごみをまとめて持って行ってくれるので一緒に出しています。ECHO の皆さんに怒られてしまいますね。大学では、一応ごみの分別が分かっているけど、学生たちはごみを捨てる時にどの程度意識しているのかな。もう一つは、レジ袋をなんとかしましょと ECHO の皆さんから言われています。今は必要な人だけセルフで持っていくスタイルです。

大井 他大学でレジ袋削減の有料化に取り組んでいると聞いて、宇都宮大学でもできるのではないかと考えたのでお話ししてみました。

渡邊 やっぱり利便性の面でなかなか踏み出しきれっていません。そういった事例ありますか？

鹿住 三重大学生協ではレジ袋をやめてマイバックを新入生に配布していますね。

渡邊 なかなかハードルが高いけれど、生協としてどう考えるかですね。学生は毎年変わって行って、環境への意識が高い子が引退するとまた新しいメンバーに伝えていかないといけなくて、そこは難しいところです。

川岸 北海道大学は、コンビニだとレジ袋いるかどうか聞かれますが、生協の購買は何も聞かずに袋に入れてくれます。

鹿住 きっと混雑防止のためなのかな。
大槻 奈良県立大学ではレジ袋は無かったです。大学の規模が小さかったので混雑ということが大きな問題にならなかったからですね。京都市ではレジ袋の有料化が進んでいて、京都にある大学生協でもそういった動きがありました。



鹿住 全国の大学生協では、82 会員が樹彫り箸を使っているという現状です。JUON の成り立ちを少しお話しします。農山漁村地域いわゆる過疎地域と都市を結んで過疎化が起こしている問題について取り組みましょう、というのが活動の目的です。特に活発に取り組んでいるのは日本の森林の問題についてです。過疎だけが原因ではありませんが、過疎化によって日本の森林を守る人が減っていて、川下の都市住民が川上に行って森の手入れを手伝うという森林ボランティア活動を全国 16 か所で行っています。大学生協がこの組織をつくったきっかけとして、農山村に住んでいる方と大学生協との出会いがありました。一つは、大学生協が農山村地域で廃校になった学校を学生用の合宿施設（セミナーハウス）として再利用し始めたことです。当時、そういう施設が少なくて大学生協としても大学にとっても必要ということで造られました。

もう一つのきっかけは、阪神淡路大震災の時に大学生協が仮設学生寮を造ったことです。震災が起こったのが都市部だったので学生が住んでいた寮やアパートも被害を受け、行政も手が回らないだろうと、スチューデントハウジングコープというものを造りました。芦屋市に造られたものは間伐材でできたミニハウスで、そこで徳島県の森林組合と大学生協の出会いがありました。大学生協は食堂を持っているので、間伐材を使った割り箸を作ろうということになりました。

環境活動のやりがい？ 活動を行ったきっかけは？

大井 自分が環境活動を始めたのは ECHO に入会してからです。それまでは学校で習う程度で具体的な取り組みはしていませんでした。ECHO に入って、大きなことはできないかもしれないけれど、学生に環境への意識を呼びかけたり、自分が活動に関わることで、興味が無い人たちに何かできるのではないかと考えています。

鹿住 何で ECHO に入ろうと思ったの？

大井 新歓活動の時に、友達と色々な団体のピラを見ていて、「行ってみない？」と誘われた最初の団体でした。話しやすい人が多くて相性が良かったからですね。ECHO にいる人たちに魅力を感じました。環境活動に全く興味が無かったというわけではないけれど、環境だからということとは特別ありませんでした。だから、環境活動に興味がないとできないというわけではないと思います。同じ興味を持っている人の中で促されてというか、影響を受けつつやるものだと思います。自分が周りの人たちから影響を受けてきたのと同じように、他の人に促せるのになって思っています。

鹿住 やっていく中で考えの変化はどうだった？

大井 最初は先輩の背中を見ながら手探りでやっていました。同時に、先輩方が目指していることとか話を聞いていて、自分も受け継いでいきたいと感じました。他のメンバーも入ったきっかけは自分と同じような人が多くて、最初からものすごく環境活動をしたいという理由で入ってくる人はほとんどいないように思います。

井東 自分は川遊びが好きで、地元の川が汚いのを見ていると綺麗になればいいなと思っていました。生



協学生委員会に入ったのは、新歓企画が楽しかったからです。その時に3つ上の先輩と仲良くなってあこがれていました。もともと環境に興味があったので環境担当につきました。

渡邊 学生時代はちゃんぼらんだっけけど、社会人になって仕事でそういう考えに巡り合ったっていうのもあるし、結婚すると奥さんが牛乳パックを洗って干してスーパーに持って行ったり、キャップを集めて子供に持たせたり、とか普通にやっているんだよね。社会的な活動の中で環境活動に触れるうちに**私生活でも環境について考えたり実践したり**するようになりました。

川岸 確かに実家では分別していました。

渡邊 そういうのを下宿生からやれると良いよね。アパートに入ると、分別方法とか教わると言うからそういうのをちゃんとやれば良いんだよね。

井東 確かに一人暮らしの先輩の家に行くとごみ袋が2週間くらい置きっぱなしとか…。忙しくなると出し忘れたり、分別とかもおろそかになってしまうのだと思います。

鹿住 私は、環境活動をやろうと特別意識したことはないですね。大学2年の時、何かサークルに入りたいと思っていた時にボランティアサークルを見つけました。それまでやったことは無かったけれど、自分のためにもなるだろうと思って、知的障害を持った子供と遊ぶサークルに入りました。障害者のことを外に発信することが大切だと思っていたので、学生ボランティアのネットワークづくりの呼びかけがあった時に参加して、団体の代表を2年ほどやっていました。

阪神淡路大震災でボランティア活動を行ったことがきっかけで、大学生協では学生のボランティア活動を進めることになり、全国大学生協連の委員会に呼ばれて大学生協と出会いました。大学生協連にボランティア情報ステーションという部署が置かれ、そこに携わることになりました。翌年にはJUONをつくるから手伝ってと誘われ、1年目は事務局職員、2年目からは事務局長ということで17年間活動してきました。

昔は地域のコミュニティで助け合っていたのが崩れてきていて、ボランティアというのは新しい地域づくりのアクターだと思っています。地域活性化とかまちづくりとか、都市と農山村をつなぐ活動を通じて、森のことを勉強したり、想いを深めたりしながらやってきました。その時に出会った縁を大事にすることで今につながっているように感じますね。

川岸 活動しているうちにどういうところが大事だと思ってきましたか？

鹿住 特に森のことで言うと、工業的な製品の材料という意味では、木とか植物は唯一再生可能なものなんですよね。持続可能の定義として一つ思っているのは、「**自然が成長するよりゆっくりなスピードで使っていけばなくなることはない**」ということです。そんなことをJUONの人たちと話したり、昔の暮らしを教えてもらう中で学んできました。そういうことを伝えていかなきゃいけないと感じています。

大井 ECHOでメインに取り組んでいるのが、11月のエコ学祭です。来場者へごみ分別の指導を行ったり、古着を回収してリサイクルしたり、学祭で出たごみの量を計量して毎年記録したりしています。ごみの分別は面倒だと思いますが、「**どういう風にやるの？**」と聞かれたり、指導していて「すごいね」って言ってもらったりとか、**関心を持ってもらえるとやりがいを感じます**。

井東 Dappyの回収率の結果を見て、良くなっていると嬉しいですね。環境活動の成果って目に見えづらいし、あまり目立たないものだから、回収率とか**目に見えると成果**を感じますね。



川岸 学生の活動を見ていてどう感じておられますか？

渡邊 よく理解をしてやってくれているなというのが正直なところ。やりたいから、っていうこともあるだろうけれど、そういう社会的な意義を見出して自分たちでやっているところは心強いといつも感じています。

鹿住 環境活動って**社会をいい方向にする活動**だから、活動をすること自体に意味があると思います。人のためになることで普通の生活の中でそんな多くないけ

れど、ボランティアとか環境活動とかに
そういうやりがいっていうものがあって、
何か目標に向かってやるっていうことも
学生にとっては特に**自分の成長につな
がっている**と思います。

川岸 大学生協でも、推進委員会を中心に環境
活動を推進するためにはどうしたらよいか
という話し合いを続けています。「なん
で環境活動をやるのか分からない」とか
「どうやったらいいのか分からない」とか
「そもそも環境に関する知識がない」
とかいろんな理由がありますね。環境セ
ミナーの参加者も減ってきていて、学生
は環境活動をやる意味を感じられないの
かな、と思っています。みんなが周り
を見ていて感じることはありますか？



大井 ECHO の中でも意識の違いはあります。まずは、エココン（全国大学生環境活動コンテスト）に出てもらった方がいいとっていて、どうしたことしたらいいかというのも、**他団体の活動を見て学んでやってみる**のがやりやすいのではないかと。実際に参加した子が、問題意識をもち始めたり、部会で意見を言うようになって意識が高まっているように感じます。

鹿住 自分たちだけで考えてやるだけじゃなくて、そういう場に出してみるのもいいよね。

井東 学生委員会内でも興味がある人は少ないです。環境活動の存続の危機もありました。今年、宇都宮大学で環境セミナーが行われて学生委員からたくさん参加したというのもあり、1年生とか結構興味を持ってきていたと思います。

鹿住 他大学の学生がやっているのを知ると、刺激を受けるのかな。

井東 セミナーの分科会で富山大の排油キャンドルの話とかを聞いて、自分たちの発想に無かった活動を知ることができました。他大学の情報を取り入れて、自大学でもやっていきたいと思いました。

渡邊 環境セミナーに参加した宇都宮大学の学生委員の感想文を見てみると、こんな活動をしてみたいといういろんな意見がありました。活動を行う意義を理解しないと踏み出せないとかじゃなくて、友達に誘われてとか、エココンに出てとか、**とりあえず何かやってみたらいい**と思います。考えているだけじゃしょうがなく、何かやってみることで周りにアピールしたり、そのために勉強したりって連動してくるから、順番じゃないんだよね。

大井 他の人に伝えるっていうのがやっぱり難しいと感じています。

鹿住 自分がそうだったように、**身近な人に向けて環境について知る場を発信**していくしかないと思います。全ての人を変えるのは簡単じゃないけれど、自分たちが活動したり、それを周りに知らせたりすることをする中で広がっていくのかな。

全国の学生や職員に向けてメッセージ

大井 最初は分からなくても、とりあえず**何かやってみることで分かることがある**と思います。ぜひいろんなことに参加してみたいです。

井東 環境について自分たちで勉強して発信するのはもちろん、どうしたら周りの人たちに動いてもらえるかを考えたり、そういった場を設けたりできたらいいなと思います。いきなり新しい分野に飛び込むのは簡単ではないと思うので、そのハードルを下げられればいいなと思います。

渡邊 割り箸の工場見学とか行って肌で感じたことを広報したり、とにかく自分たちがやってみることで周りに広げられると思います。**一步踏み出してほしい**ですね。

鹿住 身近な人の話を聞いたり、自分が体験したりしないと動き出しにくいですよ。ぜひ樹恩割り箸の工場見学に来てください！

川岸 今日は皆さんお話しいただきありがとうございました。

寄稿：東北ブロックでの取り組みについて

大学生協東北事業連合・大学生協連東北ブロックの環境配慮の取り組みについて、大学生協連東北ブロック田中事務局長から報告を頂きました！

■東北事業連合、東北ブロックでの取り組み

大学生協仙台会館では、館内全体及び部門ごとに目的目標を定め、環境委員会活動にとりくんでいます。全体では電気使用量、紙使用量、廃棄物の削減と館内での資源の節約を中心にとりくみ、各部門では会員生協の環境活動に貢献できる目的目標、例えば、エコ商品の提案、マネージャー会議での環境負荷軽減に関する学習開催、環境ツアーの企画等を掲げ、とりくみをすすめています。そして、立てた目的目標については定期的に開催する環境委員会で進捗状況の点検を行っています。また、一人一人が環境活動に対して能動的にとりくむよう、採用もしくは赴任時に環境教育を位置づけています。他に、年2回の内部監査も行っています。

東北ブロック事務局も仙台会館にあることから、環境委員会活動における目的目標を掲げ、会員生協の環境活動の状況把握に努めるとともに、会津高原森林の楽校、全国環境セミナーへの参加促進等にとりくんでいます。また、ここ最近の動きとしては、館内全体の課題である紙使用量の削減にブロック事務局として貢献するために、ブロック学生委員会が開催する会議のペーパーレス化をすすめてきました。会議の参加者は会員生協の学生がその多くですから、紙使用量削減を通して環境保護意識を高めるきっかけに結び付いています。他にも、会員生協へ影響を与えた動きとしては、森林の楽校の開催地である南会津町への会員生協独自での訪問、事業連合旅行支援課とともにとりくんだ仙台市内のごみ処理施設訪問ツアーへの教員講座・公務員講座受講者の参加等が挙げられます。

■身近なところから広げていくことが大切！

こういった活動をすすめるうえで重要だったことは、この環境委員会活動が当初はEMSとして始まったことにあるように、期間ごとに数値目標を掲げとりくんできたこと、館内全員でとりくむ風土形成に努めてきたが大きいかと思います。また、館内における資源節約やリサイクルにとどまらず、活動の影響が及ぶ範囲を会員生協まで拡げてとりくんできたことも重要なポイントといえます。現在、館内の環境事務局の責任者を務めています。私も仙台会館での仕事は3年目ですから、職員の異動が多い仙台会館内において、これまでEMS、環境委員会活動を根付かせ、変化させてきたかつての在籍職員や立ち上げ時から関わっている職員の努力によるところが大きいことを実感させられています。

全国大学生協連東北ブロック
田中事務局長



今起こっている環境問題

～今、本当に問題なのは？わたしたち大学生協に何ができるのか？～

■そもそも「環境問題」とは何か



私たちが住む惑星である地球の環境は、人間の生産活動に必要な資源(木材、石炭など)を提供し、生産活動に伴う不用物や汚染物質を受け入れ、同化させる役割を担ってきました。しかし、産業の発展に伴って排出される不用物の量が増大し、更に簡単に分解できない物質も捨てられるようになると、地球の環境にも様々な影響が現れるようになりました。これが「環境問題」のはじまりです。「環境問題」には様々なものがあります。それらの一部を列挙すると以下の通りです。

1. 地球の温暖化
2. オゾン層の破壊
3. 酸性雨
4. 放射能汚染
5. 森林（特に熱帯林）の減少
6. 野生生物の種（生物多様性）の減少
7. 砂漠化
8. 海洋汚染
9. 有害廃棄物の越境移動
10. 開発途上国における環境問題

しかし、いざ項目を羅列されても、規模が大き過ぎて身近に感じられないと思います。そこで、上に挙げた「環境問題」の中でも皆さんにとって比較的身近なトピックスである「地球温暖化」と「放射能汚染」について見て行きましょう。

◇地球温暖化◇

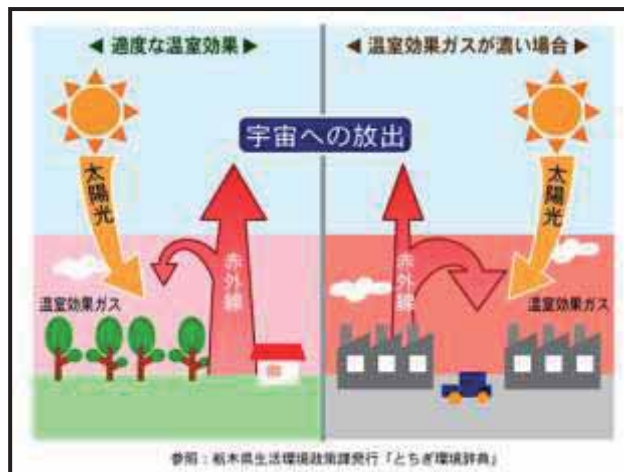
(1) 地球温暖化とは？

地球温暖化とは、人の活動に伴って発生する温室効果ガスの量が増え、大気中の濃度があがることにより、地表近くの温度が上昇することをいいます。温室効果ガスにはメタン、亜酸化窒素、フロン類などの種類がありますが、最も代表的なものは二酸化炭素です。

(2) 地球温暖化の影響は？

気候変動に関する政府間パネル（IPCC）は、現状のまま推移すれば、地表の平均温度は21世紀末までに1.4～5.8℃上昇すると予測しています。

特に、樹木は100年という短期間における気温上昇のスピードに適応することができないため、大きな打撃を受けることが予想されます。その影響はそこで生活する他の動植物にも及びます。





また、地球温暖化が進むと氷河の融解や海水の膨張などにより、海面が上昇するといわれています。IPCCの予測では21世紀末までに9～88cm上昇するとされており、島国や低地に住む人々にとっては深刻な問題です。これ以外にも、降水パターンの変化による自然災害の多発化、世界の穀倉地帯の乾燥化による食糧生産への影響、動物媒介性感染症の流行地域の拡大など、様々な影響の可能性が指摘されています。

(3) 京都議定書とは？

地球温暖化を防止するという困難な課題の実現に向けて「**これまでに多くの温室効果ガスを排出してきた先進国がまず責任を果たすべき**」という考えから、先進国が削減すべき温室効果ガス排出量の数値目標を定めたのが**京都議定書**です。

京都議定書では、先進国全体で6種類の温室効果ガスの排出量を2008年から2012年の間（第一約束期間）に1990年と比較して少なくとも5%削減することとしました。数値目標には各国ごとの事情に応じて差が設けられており、日本は**6%**削減することが求められました。日本の環境省は2013年11月、8.2%削減で京都議定書の目標数値を達成したと発表しました。

(4) COP21とは？

「COP21」の正式名称は「国連気候変動枠組条約第21回締約国会」といいます。2015年の11月30日から12月13日までフランスのパリで行われました。このCOP21がなぜ注目されているのかというと、このCOP21で「パリ協定」というものが採択されたことにあります。この「パリ協定」では「すべての国が参加して、温室効果ガスの排出削減目標を5年ごとに提出・更新することを義務付けること」が定められています。

「パリ協定」と「京都議定書」との違いでもっとも大きな点は「**全ての国が削減目標・行動を持って参加することをルール化した**」ことです。これまでのCOPでは「平等に削減を目指すべき」と考えていた先進国と「先進国がこれまでの責任を負うべき」と考えていた途上国との間で納得のいく結論が出せないでいました。それが今回のCOP21では全ての国の共通目標に向かって各国の差はあるものの、全ての国が平等に温室効果ガスの削減に向けて動くルールが決められたという点で「パリ協定」は評価されています！

一方で、京都議定書とは違い、各国の具体的な削減目標について法的な拘束力のある基準は設定されていないという問題点が指摘されています。

パリ協定と京都議定書との比較

※○△×は京都議定書と比べた進捗度合い
(○は進展、△は現時点では不明、×は後退)

	パリ協定 (2015年採択)	京都議定書 (1997年採択)
目的	産業革命前からの気温上昇を2度未満に抑えることを目指し、1.5度未満も努力する ○	(条約で、大気中の温室効果ガス濃度を安定化させると規定)
対象国 (温室効果ガスの削減実施義務のある国)	196カ国・地域 ○	38カ国・地域 (13～20年)
長期目標	できるだけ早く世界の温室効果ガス排出量を頭打ちにし、今世紀後半に実質ゼロにする ○	なし
国別削減目標	全ての国に策定・報告・見直しを義務付け。ただし目標値は各国が自ら決定 △	目標値は政府間交渉で決定
目標達成の義務	なし ×	あり (できなければ罰則)
途上国への資金支援	先進国が20年以降、1000億ドルを下限に拠出することは合意したが、協定に金額明記されず △	(条約で、先進国に拠出の義務があると規定)

◆放射能汚染◇

(1) 東日本大震災による福島第一原発の事故

2011年3月11日の東日本大震災によって起こった津波で福島第一原子力発電所の事故が起きました。この福島第一原発事故により大気中に放出された大量の放射性物質は風によって拡散し、雨等により地表や建物、樹木などに降下しました。結果、東日本の広い範囲に放射能汚染が広がりました。

(右図は福島第一原発から漏れた放射能の広がり)



(2) 放射性物質の流れ

空気中に含まれた放射線を浴びた放射性物質が雨などにより地表に降下し、川や地下を通過して浄水施設や下水道に流れ込みます。日常生活に使われる水の中にも含まれる可能性もあるため、生活ごみなどの中にも放射性物質が含まれることが考えられます。このようにして私たちの生活の中に直接的・間接的に放射性物質が含まれてくる可能性がある以上、私たちにも関係のない話ではありません。

(下図は放射性物質がどのように生活に関係してくるのかを示した図。)



(3)放射能汚染に関する環境問題

◆汚染された土壌や放射性廃棄物はどこで保管・処理するのか？

放射能で汚染された廃棄物の内、一定濃度（1 キログラム当たり 8,000 ベクレル）を超え、環境大臣が指定したものは、指定廃棄物として、国の責任のもと、適切な方法で処理することとなりました。指定廃棄物の処理方法は「放射性物質汚染対処特措法」において決められていますが、肝心の**指定廃棄物の長期管理施設をどこに設置するのかは未だ定まっていません。**（2016年12月1日現在）

（環境省：放射性物質汚染廃棄物処理情報サイトより

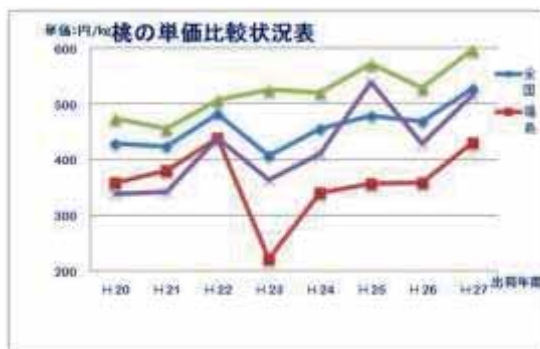
http://shiteihaiki.env.go.jp/radiological_contaminated_waste/designated_waste/)

◆福島産農作物への風評被害

福島第一原子力発電所の事故があった2011年は福島産の農産物の単価が大きく下落しました。現在ではある程度回復してきていますが、それでも事故以前や他地域と比較して低い単価となっています。事故後の2012年からはそれまでよりも厳しい放射性物質の基準値を設け、基準値を超えた品目の出荷を停止し、市場に出回らないように工夫されています。しかし、いまだに**ネット上等では福島産の食品に対する安全性を心配する声が多く挙がっている現状があります。**

（厚生労働省：食べものと放射性物質のはなしより

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/houshasei/index.html)



■「環境問題」を自分の課題にしていくために

以上、多くの環境問題から2つの「環境問題」について少し詳しく見てきました。なんとなく言葉だけ知っていた人も多いとは思いますが、それらの環境問題というのは突き詰めていくと自分たちの問題であることが分かります。しかし、普通に生活していたら環境問題を自分にとっての問題だと感じることは少ないと思います。大学生協の環境活動には様々な側面がありますが、この「**一見考えにくい環境問題を、組合員が自分の問題として考えてもらう**」という視点が大切になってきます。

【環境活動で目指したい到達点】

①取り組みに参加した組合員が、「環境問題」に関する知識を得る・関心を抱けるようになる。

②組合員が参加後、何らかのかたちで自分のくらしを環境に配慮した生活に改善できる。

残念ながら、一人ひとりの努力で劇的に状況が変わるほど単純な話ではありません。しかし、環境に配慮した生活を送ろうとする組合員が増えれば増えるほど、現状を改善できる可能性は高まります。参加した組合員一人ひとりが、今後の自分の生活を考え、学びに活かし、少しでも環境に配慮した生活を送れるような取り組みを行なっていくことが我々大学生協の課題なのかもしれません。

大学生協が環境活動に取り組む意義

～なぜ大学生協が環境活動に取り組んでいるのか？～

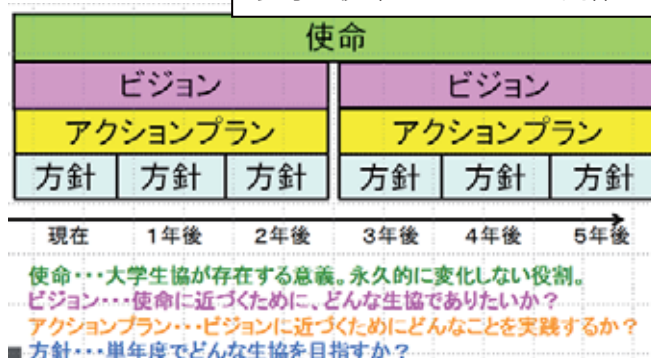
■「大学生協の4つの使命」から考える。

大学生協は、「協同・協力・自立・参加」の4つのキーワードで私たちの存在意義、「使命」を定めています。その中でも「参加」がキーワードの「使命」は「魅力ある事業として組合員の参加を活発にし、協同体験を広めて人と地球にやさしい持続可能な社会を実現する」ことを目指しています。

また、使命のもとに中長期的な視野でみたときに、「どんな大学生協であるべきか」をまとめて「8つのビジョン」と呼んでいます。7つ目は「組合員の参加を活発にし、協同体験を広めて、人と地球にやさしい持続可能な社会をつくる大学生協」と書かれています。

上記からもわかるように、大学生協が大事にしていることは、「**大学生協の活動(経済活動、組織活動等)を通して、組合員が参加する場と機会を作り、人と地球にやさしい社会を作ること**」です。そのために大学生協は環境活動に取り組んでいます。

参考：使命とビジョンの関係



■「一般的な社会で求められる環境配慮」から考える。

◆事業として環境配慮を行うことの重要性

「経済のグリーン化を実現するために、事業者による環境に配慮した経営（環境配慮経営）は、重要な役割を果たします。」（環境省 HP より：http://www.env.go.jp/policy/keiei_portal/about/）

事業が環境に配慮した経営を行うことで事業体自体による環境負荷を削減できることに加えて、例えば製品の利用段階での環境負荷を減らしたり、原料の採掘における環境負荷の削減にもつながったり、事業体を通じて様々なところで環境配慮が促されます。

⇒つまり、組織として環境配慮を行うことが大切ということです。

「大学生協」という組織も例外ではない！

◆具体的な社会の中の企業行っている環境への配慮

社会の中では様々な企業でCSR(企業の社会的責任)として環境に配慮した取り組みが行われています。
(日経BPフォーラム「会員企業一覧」より <http://business.nikkeibp.co.jp/article/emf/20121120/239606/>)
例えば「アサヒグループホールディングス」では以下のような「環境基本方針」を設定しています。

「アサヒグループ環境基本方針」(2016年改定)

基本理念

アサヒグループは水や農作物など「自然の恵み」の恩恵を受け、事業活動を行っています。
私たちは「自然の恵み」を育んだ地球に感謝し、地球をより健全な状態で次世代に引き継ぐことを社会的責務と考え、持続可能な社会の実現に貢献するため行動していきます。

行動指針

1. 省エネルギーを推進し、温室効果ガスの排出削減に努めます。
2. 廃棄物の削減・再利用・再資源化の3Rを推進し、循環型社会の構築に努めます。
3. 生物多様性の保全、生態系の保護に関する取り組みを推進します。
4. 貴重な「水資源」を大切にする取り組みを推進します。
5. 商品のライフサイクル全体の環境負荷低減に向けて、継続的改善に努めます。
6. 環境に配慮した商品開発、技術開発、原材料調達に努めます。
7. 社会の環境活動を積極的に支援するとともに、社員の活動参画により社会に貢献します。
8. 環境法規制を遵守することはもとより、グループ各社が独自の基準を定め実行します。
9. グローバルな環境情報を十分に把握し、環境の保全に積極的に取り組みます。
10. 環境への取り組みについて適切に情報開示を行い、社会とのコミュニケーションに努めます。

企業でも、自分達の事業が成り立つのは地球の環境によるおかげであることを認識した上で、地球をより健全な状態で次世代に引き継ぐことを社会的責務として捉え、持続可能な社会の実現を目指して行動しています。

⇒大学生協も社会的には一つの事業体を持つ組織です。

大学生協でも環境に配慮する**責務**があります！



■「大学の中にいる人達の願い」から考える。

学内に環境系サークルが存在し、活発に活動している大学もあると思います。また、大学としても環境に配慮した取り組みを行っているということもあると思います。そのような人達は大学の中で環境に配慮した生活を実現したいという想いや、もっと他の人にも環境に興味を持ってほしいという想いを持っている人もいると思われます。そのような大学内の人達の想いに大学生協として寄り添うことができれば、想いを持った人達と一緒に活動することができ、より環境に配慮した生協事業や組合員への環境啓発活動が実現するのではないのでしょうか！

大学生協なら大学内の人達と

共に環境活動の輪を広げていくことができる！



■「自分が環境活動に取り組む意義」を見つけてください！

ここまでで、社会の中で各組織や団体、また大学生協がなぜ環境活動を行うのかを紹介してきました。しかし、このページを読んだだけで満足しないでほしいです。ぜひあなた個人として環境活動に取り組むことの意義を見つけたいと思っています。

個人として環境活動に取り組む意義に正解はありません。

「環境に配慮した行動は社会から評価されるから」

「なんとなく自然が好きだから」


「自分達のせいで環境を汚してしまったら後世の人たちに申し訳ないから」

・・・等々

何でも良いです！



「自分が環境活動に取り組む意義」 を見つけてください！



「環境活動」とは何か？

なんとなく使っている「環境活動」という言葉について、歴史や世界の動きから紹介します！

■大学生協が行う「環境活動」は「環境教育活動」のこと！

大学生協では、組合員に対する、共済、食堂での食事の提供、書籍・文具の販売、教習所・アパート・旅行の斡旋などのサービスをふくめた、事業活動のほかに、平和・環境・読書推進・食育などのテーマで組合員と一緒に、互いに知識や意識を高める組合員活動（組織活動とも呼ばれます）があります。

環境活動とは広い意味では、環境に関連した活動で、環境を配慮した事業活動も含み、ISO14001 環境マネジメントシステムや環境監査等では重要な位置を占めています。さらに、大学生協連の環境活動推進委員会としての環境活動は環境をテーマにした組合員活動も考えています。

地球温暖化や気候変動、廃棄物の最終処分場の狭隘、海洋・河川や大気汚染など、現在の深刻で複雑な環境問題の解決のために、科学の進歩は欠かせませんが、その進歩は環境問題の進行に追いつきません。そこで、私たちは、現在の大量生産・大量消費・エネルギー浪費の社会から持続可能な循環型社会に移行しなければなりません。そのために、私たち自身が環境意識を高め、ライフスタイルから変革しなければなりません。**環境教育はこういった環境意識を高める活動です。**環境教育の言葉は、1948 年国際自然保護連合（IUCN）の設立総会から用いられるようになりましたが、1972 年ストックホルム国連人間環境会議、1992 年リオ・サミット（地球サミット）、2002 年ヨハネスブルグ・サミットで確認されてきました。その中で 1975 年の旧ユーゴスラビアの首都ベオグラードでの UNESCO 環境教育国際ワークショップでのベオグラード憲章、その後の 1977 年ジョージア国の首都トビリシでの UNESCO 環境教育に関する政府間会議でのトビリシ宣言では環境教育の目的、目標、指針などが公表されました。

環境教育とは、環境や自然についての知識を学ぶだけでなく、自然体験や環境保全活動に参加することにより、持続可能なライフスタイルを実践できる人材を育てることと位置付けられています。日本では 2003 年に「環境保全のための意欲の増進及び環境教育推進に関する法律（環境保全活動・環境教育推進法）」が制定され、市民、企業、自治体、NPO などで活発に環境活動が展開されるべきであることがうたわれています。

また、日本は 2002 年のヨハネスブルグ・サミットで、持続可能な開発のための教育（ESD）の 10 年（2005～2014 年）提案し、2014 年に岡山と名古屋で UNESCO ESD に関する世界会議が開かれ 10 年間の報告がなされました。ESD とは、環境に限らず、貧困・人権・平和・開発といった様々な地球規模のテーマについて自らの問題として捉え、一人ひとりが自分にできることを考え、実践していくこと（think globally, act locally）を身につけ、課題解決につながる価値観や行動を生み出し、持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。したがって、環境教育を ESD として実践している小中学校も数多くあり、ユネスコスクールとして登録されています。

生協の組合員活動としての環境活動は組合員の環境意識を向上させ、各自の生活での環境負荷を減らし、環境保全を意識した行動をとるように促す行為なので、まさに環境教育や ESD の理念とあっています。

■環境教育の取り組みを行う上では「体験」と「ふりかえり」が大事！

環境問題解決のために自ら考え・行動できる人材を育成するための環境教育の手法として、実際に体験型で環境活動を行うことは効果的です。この場合も体験だけで終わらせるのではなく、活動の「ふりかえり」「わかちあい」を行い、活動の参加者自身が考え、意識を刺激するための、体験学習の循環学習プロセス（図1）が重要です。「わかちあい（shearing: 結果の共有化）」のためにグループワークを行います。かつてはワークショップのファシリテーションと呼ばれていましたが、昨今、アクティブ・ラーニング（主体的な学び）が重要視され、いかに学習者を主体的に学ばせ、意識を刺激するかが検討され、協同学習の手法が確立されてきました。ケーガン（Kagan）は協同学習の4つの原理として①互惠（互いにメリットがある）②責任ある参加（皆が積極的に参加するような場にする）、③平等な関係（参加者が平等で、話し合いを仕切る人がいない）、④同時的（一緒に行う）が重要であると規定しています。状況に合わせて協同学習の手法を選択するようにすると効果的です。



参考：ベオグラード憲章から

<環境教育の目標>

環境とそれに関連する諸問題に気づき、関心を持つとともに、現在の問題解決と新しい問題の未然防止にむけて、個人および集団で活動するための知識、技能、態度、意欲、実行力を身につけた人々を世界中で実行育成すること

<環境教育の6つの目的>

1. 意識（Awareness）とは、個人と社会集団が、総合的環境およびそれに関連する問題を意識し、関心を持つこと
2. 知識（Knowledge）とは、個人と社会的集団が総合的環境とそれに関連する問題、およびその問題の中の人類がきわめて大きな責任ある存在と役割であることを基本的な知識として身に付けるのを助けること。
3. 態度（Attitude）とは、個人と社会集団が、社会的価値、環境に対する強い懸念の感情、および環境の保護と改善に積極的に参加する意欲を身に付けるのを助けること。
4. 技能（Skills）とは、個人と社会集団が環境問題の解決のために技術を身に付けるのを助けること。
5. 評価能力（Evaluation ability）とは、個人と社会集団が、環境基準と教育プログラムを生態学的、政治的、経済的、社会的、美的、教育的要因から評価するのを助けること。
6. 参加（Participation）とは、個人と社会集団が、環境問題を解決する適切な行動を保証する環境

東京農工大学 佐藤敬一
（全国環境活動推進委員会）



JUON (樹恩) NETWORK

都市と農山漁村がつながるところから、未来が始まる

農山漁村でのボランティア、リーダー養成、国産間伐材割り箸・・・。
JUON NETWORK は、自然と向き合う知恵と技を学び伝える場を提供し、
都市と農山漁村の循環と世代をこえた人々のつながりを取り戻します。
豊かな未来は、きっとそこから始まります。

■JUON NETWORK とは

都市と農山漁村とをネットワークで結ぶことにより環境の保全改良、地方文化の発掘と普及、過疎過密の問題の解決に取り組むことを目的として、1998年 大学生協の呼びかけにより設立された特定非営利活動法人(NPO 法人) です。大学生協が、廃校を活用したセミナーハウスの運営や、阪神・淡路大震災の支援活動をする中で、過疎地に住む人々と出会ったことが始まりです。
過疎問題や地方文化継承問題などに取り組む、全国各地の思いをつないで、交流の輪を広げていくために活動しています。



■つながっている、都市と農山漁村

食べ物や家を建てる木材など、都市の暮らしは農山漁村に支えられています。きれいな水や空気は健全な森林から生み出されます。一方、食べ物や木材を買う人がいなければ、農山漁村の人々は農地や森林の手入れを続けることができません。

このように、都市と農山漁村は、お互いに支え合っています。このような当たり前のことを、わたしたちはつい忘れてしまいがちです。

■未来へのヒントは、農山漁村にあり

日本のかつての暮らしは、自然と共生した持続可能なものでした。農山漁村には、その暮らしがまだ残っています。しかし、過疎化によって自然を守る人が減り、森林や農地が荒廃しています。一方、最近では農山漁村に価値を見いだす人が増え始め、都市に暮らす人の中にも、農山漁村に通ったり、移り住んだりする人が出てきました。



■ネットワークで創り出す新しい「価値」

JUON NETWORK は、都市と農山漁村の人々をつなぎます。交流しながら、森林を守る活動や農家のお手伝いを行っています。

このような活動を通して、社会を持続可能にするための新しい価値観とライフスタイルが生み出されると考えているのです。



JUON NETWORK の活動紹介

(1) 都市と農山漁村の交流、森林・田畑の保全

国内・外の森林の暮らしを、体験を通して学べる「森林の楽校」

森林は地球温暖化防止、水源涵養、災害防止などの役割があります。ところが今、手入れがされず日本の森林は荒れています。「森林の楽校（もりのがっこう）」では、森づくり体験・自然散策や地元の方々との交流などを通じて、**森林・環境問題について学ぶことができます**。ボランティア活動のきっかけとして、参加してみませんか？（2016年度は秋田、福島、群馬2、埼玉、東京、新潟、富山、長野、岐阜、京都、兵庫、徳島、香川、高知、長崎の全国16ヶ所で開催）



人手不足の農家を応援する「援農」の入り口「田畑の楽校」

過疎高齢化の進行や食糧自給率の低下によって、日本の農業は担い手不足に陥っています。先祖から受け継いできた田畑が放置されれば藪となり、病気や害虫の発生源にもなってしまいます。「田畑の楽校（はたけのがっこう）」では、**自然を愛する人や農業をやりたい人の力で畑を守り、食卓に美味しい産品を届けてくれる農家の方々に応援するきっかけをつくります**（2016年度は山梨（ぶどう）、和歌山（棚田）で開催）。



(2) ボランティア人材育成

都市と農山漁村を結ぶ人材を育てる資格検定制度「エコサーバー」

JUON NETWORK が実施する資格検定制度が「エコサーバー」です。ボランティア入門者が、活動のリーダーになり、さらに、ボランティア活動を地域とともにプロデュースできるようになるまでを応援します。

日本の自然体験活動の共通資格「NEAL（自然体験活動指導者）」も取得できます。





若いボランティアリーダーが必要！

「森林ボランティア青年リーダー養成講座」

継続的に森林ボランティア活動に参加する若いリーダーを育てることを目的に、1999年から東京で実施しています。

卒業生達は「東京ヤングジュオン」として、東京都奥多摩町において定期的な活動を行っています。2007年からは関西でも講座が始まり、「関西ヤングジュオン」が誕生しました。



(3) 国産品・地産地消の推進



都市と農山漁村を結ぶ架け橋 国産間伐材製「樹恩割り箸」

日本の森林を守るために間伐材・国産材を使うこと、障害者の仕事づくりに貢献すること、食堂の排水を減らすこと、この3つの目的をもって「樹恩割り箸」は生まれました。全国の知的障害者施設で製造され、80以上の大学生協食堂などで利用されています。

つくる人の顔が見え安全な「樹恩割り箸」は、まさに都市と山村を結ぶ「かけはし」となっています。



【連絡先】

認定特定非営利活動法人 JUON NETWORK (樹恩ネットワーク)
〒166-8532 東京都杉並区和田 3-30-22 大学生協杉並会館内
TEL : 03-5307-1102 FAX : 03-5307-1091
E-mail : juon-office@univcoop.or.jp
URL : <http://juon.univcoop.or.jp/>
Twitter : <http://twitter.com/JUON98>
Facebook : <http://www.facebook.com/juonnetwork>



リユースマーケット

POINT

☆テーマ☆

「モノ」だけでなく、「思い」も届ける。

大阪大学生協（関西北陸ブロック・大阪兵庫和歌山エリア）



そもそも「リユースマーケット」とは??

リユースマーケット（以下「リユマ」と表記）とは、大阪大学生協 学生委員会の恒例企画であり、担当する「環境局」のメンバーですらいつから始まったのか正確には理解していないほど長く行われている企画です。（2016年に2000年度のリユマの総括資料が発見されました。）

具体的に何を行うかという点、2月から3月にかけて「卒業生」から不要になった家具・家電を提供していただき、それをリユマ当日に「新入生」に渡します。会計や物品管理など細かく・煩雑な点が多くありますが、簡単には下図のようにまとめることができます。

届いているのは「モノ」だけじゃない!?

元来、リユマは「卒業生」にとっては「廃棄料金が浮き」、「新入生」にとっては「家具・家電の購入費が浮く」という「経済的支援」と「環境負荷の軽減」の2つを柱として運営されてきましたし、2016年度もその方針を引き継ぎました。しかし、企画評価の段階でアンケート結果を見た企画担当者はあることに気が付きました。「卒業生が物品を提供した理由の中に『新入生のときに助けってもらったから、今度は私が助ける番だと思いました。』といった趣旨のコメントがありました。それも複数見受けられたのです。「お金」ではなくて、自分が先輩からリユマを通して受けた恩を新入生に返そうという「優しい思い」がこの「環境活動」のサイクルを回し始めているのです。恒例企画だからこそこの「思い」のサイクルを作ることができたのだと思います。



図. リユマの流れ

記事を書いてみての感想、読者のみなさまへ一言

実は、この記事の担当者はリユースマーケットを実際に運営した人間です。自分の企画の自慢かと思われるかもしれませんが、恒例企画ならではの魅力をこの記事では伝えようとしてきました。みなさまに少しでもその意図が伝われば幸いです。



100円カレー

POINT

☆テーマ☆

新学期の取り組みの中でリ・リパックの回収方法を伝える！
→年間80%超えの回収率を達成しています！

日本獣医生命科学大学生協（東京ブロック）

日本獣医生命科学大学生協では、例年の新学期活動の中で、新入生を対象とした食堂誘導を行っています。主な目的は「食堂の使い方を新入生に知ってもらう」ことですが、取り組みの中でリ・リパックを登場させることで、同時に新入生にリ・リパックの回収方法も知らせています。

新学期活動のうち「新入生歓迎会」には、新入生の約9割が参加します。当日の昼食の時間になると、学生委員から食券の買い方や出食方法について説明がされます。

そこで実際に新入生が買ったのが「100円カレー」で、文字通り100円でカレー（小）が出てきます！



班の仲間と一緒にカレーを食べ終わると、机にあるイラストを見て、一斉にリ・リパックのフィルムをはがします。そして学生委員の指示のもと、ごみ箱にはフィルムを、回収BOXには容器を分別して捨てました。



日本獣医生命科学大学生協では、新入生に対して毎年リ・リパックの回収方法を伝えることで、年間で80%を超える、全国でも有数の高い回収率を誇っています！

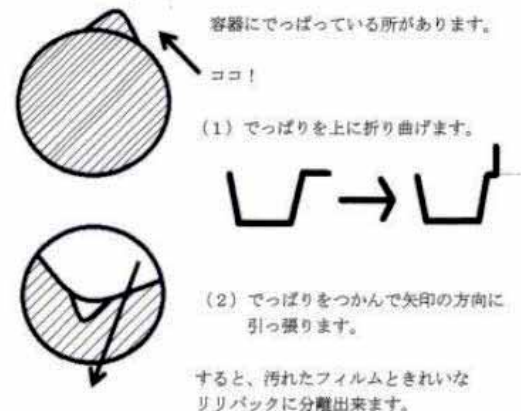
新学期に新入生に対してリ・リパックとはなにかを伝えることで、1年間ずっとその効果が続きますね！

リ・リパックをはじめ、リサイクル容器はある程度の数が集まってこそ「環境にやさしい活動」と言えます。自分の大学生協のリ・リパックはどれくらい回収できているのでしょうか？生協職員に聞いてみましょう！

リリパック回収にご協力を！

・リリパックとは

フィルムが張ってあるので、容器を直接汚さずに済みます！
容器は回収してリサイクルしています。地球にやさしいです。



汚れたフィルムは燃えるごみ、スプーンと蓋は燃えないごみになります。
リリパックは回収します。

日本獣医生命科学大学 生協学生委員会



ごみナビ

POINT

☆テーマ☆

北大祭事務局と協力したごみの分別指導！

ごみの分別だけでなく、環境問題も考えてもらえる工夫！

北海道大学生協（北海道フロック）

☆この取り組みの背景☆

- 北大祭に来た人に、ごみの分別を正しく、自発的に行ってもらおう。
- 日常的なごみ問題について知り、北大祭後も継続的に意識を持ち、どうすればよいのかを考えてもらう。



☆取り組み内容☆

○ごみナビゲーション

北大祭期間中、ごみ箱の前でごみの分別指導を行いました。

どういったごみは何ごみかわかるように標識を作成し、ごみ箱に設置しました。

また、ごみの分別を促すような内容やごみ問題について考えてもらう内容の看板をごみ箱付近に設置しました。北大祭では『とがったもの』『水気のある生ごみ』など札幌市の分別とは異なるため、ごみの分別を勘違いしている方が毎年多いです。

○対象者にあわせたイベント

- DUST SEPARATING FESTIVAL

大学生向けに、ごみを分別してもらうゲームを行いました。

北大祭形式、札幌市形式、北大サスティナブルキャンパス形式のうちから1つを選び、様々なごみを分別してもらいその早さに応じて、札幌市指定ごみ袋などの景品を渡しました。

- あつめてゲット！スタンプラリー

小さい子ども向けに、牛乳パックなどのごみをリサイクルして作った迷路を体験してもらい、ごもりサイクルすれば使えることを知ってもらいました。また、大学内を歩いているスタッフをみつけて、ごみ問題やリサイクルについてのクイズに答えるとスタンプをもらえる取り組みも行いました。楽しみながらごみ問題やリサイクルについて知ることができていました。



☆取り組み内容☆

○展示紹介

生活排水やごみの不法投棄などが環境に悪影響を与えている写真と、ごみ問題を風刺した作品を模造紙2枚にまとめて展示しました。また、普段捨ててしまうような物の再利用法を紹介する企画もあわせて行いました。大学生以上向けには、野菜クズを利用したレシピ紹介、卵の殻やペットボトルの再利用法を紹介しました。子ども向けには牛乳パックの小物入れの作り方などを紹介しました。さらに、展示だけで終わらないように、ここで紹介したものの一部をピラに掲載し、配布することで帰った後にも実践してもらえるような工夫を行いました。



○ゴミナビジャースhow

北大祭期間中のステージ発表で、『環境戦隊ゴミナビジャースhow』を行いました。北大祭をめちゃくちゃにしようとする、だらけた生活を愛し、ごみの分別をしない、キャプテン・ジャック・D・スパロウ率いるゴミゴミ海賊団を5人のゴミナビジャーが倒して、改心させるというストーリーです。

5人のゴミナビジャーは、

- ・ファイヤーレッド（燃えるごみ）
- ・キャップブルー（キャップ）
- ・とがったものイエロー（とがったもの）
- ・ピン缶ペットピンク（ピン・缶・ペットボトル）
- ・環境グリーン（エコ）



といった形で、ごみの分別にちなんだ名前をつけています。ショーを通してごみの分別だけでなく、分別しないとどうなってしまうか、正しいリサイクルなどについて触れられていました。

小さい子どもの観客が多かったですが、毎年行っていて定番行事となりつつあるため、北大生の間でもロコミなどで見に来てくれる方が多くいました。



記事を書いてみての感想、読者のみなさまへ一言

北大構内にあるイチョウ並木のライトアップです。

北大は都市部にありながら自然もたくさんある大学です。自分の周りの環境をきれいにしていく、それを持続させていくことを意識するところから始めてみましょう！



サマーパーティーコラボ企画

POINT

☆テーマ☆

多くの人が集まる企画での環境に関する取り組み

奈良県立大学生協（関西北陸ブロック・京磁奈良エリア）

☆取り組みの背景・目的☆

どの回生も学生生活にマンネリ化を感じていたり、大学に来て同回生や友達と会う機会が減ったり、学部ごとに距離ができてしまっている。そこでなかなか集まる機会のない人たちが一度に介する機会をこの企画を通してつくり、再び仲良くするきっかけにしまおう、また、その機会に合わせて、平和防災環境の興味を持ってもらえるようにする。

→大学のみんなが来る機会（サマーパーティー）を設け、そこで平和防災環境に関する企画を行っている！

イイね！ポイント

・参加型の企画をして組合員に平和防災環境への興味を持ってもらえるようにしたこと！

…特に環境では、学生委員が作った廃油キャンドルを見てもらい、環境にやさしい油の捨て方を知ってもらうような企画を行いました！

・既存の企画の中に環境に関する取り組みを組み込んでいること！

…単発で企画をするより取り組みやすく、またより多くの組合員にアプローチすることができる！



環境に関する取り組みやほかの社会的課題に関する取り組みはなかなか単発の企画では難しいです。既存の企画などに付け足すイメージで取り組んでみると、簡単にすることができるかもしれません！

油処理に関するポスター

POINT

☆テーマ☆ 手軽な活動.....
生協の現状を基に考えられた活動である

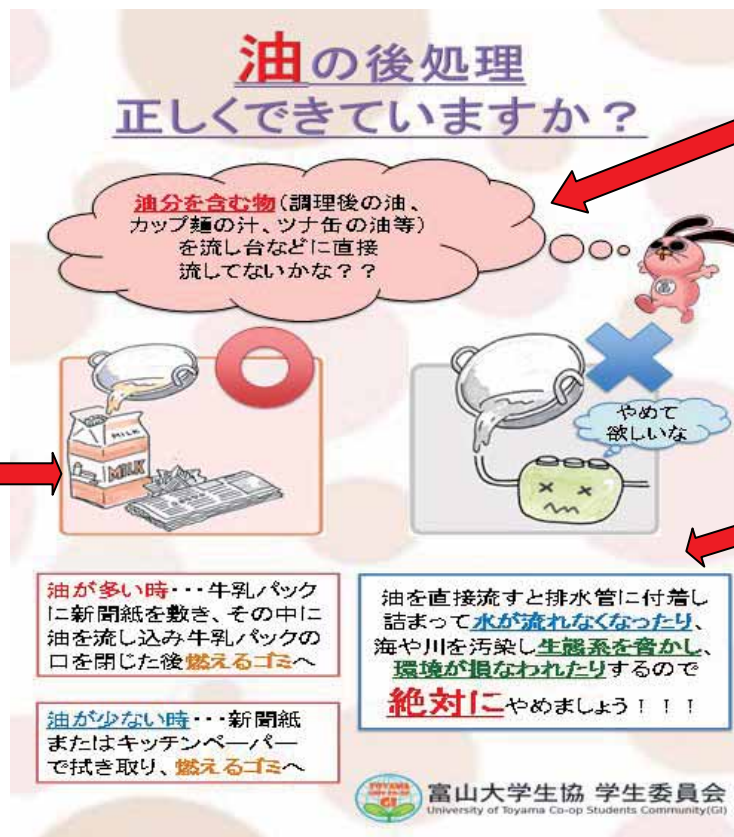
富山大学生協（関西北陸ブロック）

ポスター作製の背景

2015年10月、富山市から下水道法におけるノルマルヘキサン抽出物質（油分）が五福キャンパス内の下水道において、下水排除基準を超えたとの通知があった。油分の基準値を上回った主な原因が、油を扱う生協食堂であり、このまま改善されなければ 学内で水が使えない事態に陥る 可能性があった。

そこで、節水しつつ学内の排水油分量を減らし、水道が止まるのを回避する。また、広報活動を行うことにより、組合員が排水における関心を持ち、学内外問わず油の正しい処理方法の知識を得ることを目的にポスターが作成された。

作成されたポスター



はじめに問いかけの形で見る人を引き込む。また、何が油として流されているのかを伝えどこに対して対策すべきかを伝えている

図を用いてパッと見ただけでもいいことが分かるようになって

その行為が環境に与える影響を開示することで対策へのモチベーションにつながる。

記事を書いてみての感想、読者のみなさまへ一言
簡単なことからでも行っていくことが大切だと思います

リ・リパック回収率の発信

POINT

☆テーマ☆

事業連合とブロックが連携した取り組み！

組合員も巻き込んで環境の意識を広められる！

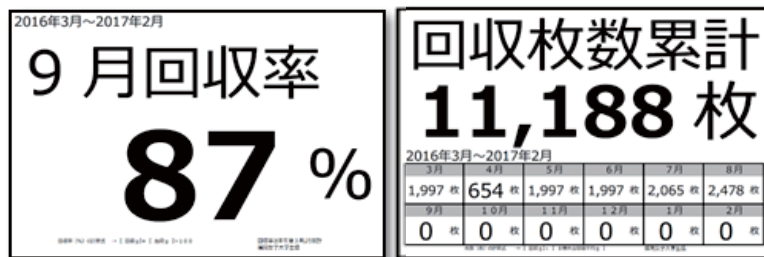
九州事業連合

☆取り組みの背景・目的☆

九州全体で取り組んでいるリ・リパック容器回収の取り組みがどれほどの効果があるのか、回収率は上がっているのか下がっているのか知ってほしい！という思いがあります！自大学生協の回収率を知ることで今後の取り組みにつなげられる、ほかの会員の回収率と比較して競い合いの気持ちで「もっと頑張ろう！」と意識を高められます！

九州事業連合食生活グループと九州ブロック学生事務局が連携して各会員へ回収率を発信しています。職員と学生、さらに組合員も巻き込んで、九州全体で環境の意識を高めています！

イイね！ポイント



毎月の回収率は累計回収率としてデータ化してポスター形式で各会員に配布しています！前月までとの比較ができ、回収枚数を目に見える形で知らせています！

配布したデータはポスターに貼り付けられるようになっています！店舗の生協自家製弁当コーナーなどに掲示されており、組合員の目にも触れる形で大学生協の環境の取り組みを知らせています！



リ・リパック回収について、自分たちの取り組みの成果を目に見える形で発信しているのがこの取り組みの良いところです！組合員がこのポスターを見て回収率を知り、環境の取り組みへの参加や環境の意識を九州全体で高めていきます！



日常活動

POINT

☆テーマ☆改善

宮城大学生協では定期的にリリパック・割り箸回収、クリーンキャンパス等の活動が行われており、大学に対して拾得物の報告をして学生委員を中心に大学に協力しています。また、毎週の部会で現在の活動の状況を分析したことを報告し、常に改善（組合員の参加や回収状況・数値等）に取り組むという仕組みができています。未だ他の会員に浸透していない「日々、学生委員会全体で問題意識を共有し、改善、活動を展開していく」という点がポイントです!!

宮城教育大学生協（東北ブロック）

宮城教育大学生協学生委員会、通称 TA ではリリパックと間伐材割りばしの回収と月に一回（長期休暇と冬季は除く）の学内クリーンアップを行っています。また仙台市で行っている WAKE UP! の資源回収 BOX も新たに設置しました！

リリパック回収と間伐材割りばしの回収は、学内の各施設に回収 BOX を設置し、週に一回、7 回収を行っています。リリパックについては回収率を出しており、職員さんに出食数を聞いて、回収した分を出食数で割って計算しています。2016年10月の回収率は60%弱であり、長期休暇前の70%強を下回ってしまいました。原因は今のところ探っている状態ですが、一度組合員さんにむけて回収の意義について発信する必要があるかもしれません。

またリリパックと間伐材割りばしは主に学食で多く消費され、週に一回の回収ではあふれてしまうことがあることと、段ボール製なので汚れてしまうことが課題で上げられました。そのため回収の回数の増加と、回収 BOX の材料の変更を行うことを検討しています。

月に一回のクリーンアップ運動では、組合員さんに身近なところから環境について目を向けてもらうことを目的としています。参加してくれた組合員さんにはお礼として夏季にはガリガリ君、それ以外はぶにたまをプレゼントしています。宮城教育大学では、特に駐輪場に落ちているたばこの吸い殻などのごみが問題になっています。構内が全面禁煙であるにも関わらず喫煙されていることも問題ですが、その吸い殻が大量に残されていることも問題です。どこで TA で回収したたばこのごみを学生課へ報告し、どうにか改善できないか、相談している状況です。

記事を書いてみての感想、読者のみなさまへ一言

書き起こしてみても改めて自分たちが行っている活動について見直すことができました。特にリリパックの回収率に関してはもっと改善の余地があります。一人でも多くの組合員さんが少しでも環境に目を向け、環境について考えるきっかけになることを願っています。

この記事を読んでいただいた方の、少しでも役に立てたなら幸いです。



環境ISO学生委員会の理事会参加

POINT

☆テーマ☆

環境活動の報告・学内団体の交流

三重大学生協（東海ブロック）

三重大学は“環境先進大学”として大学全体で環境活動に力を入れています。

「三重大学環境 ISO 学生委員会」は環境活動を学生目線で積極的に行っている学生団体です。

◇理事会参加の経緯◇

三重大学生協では 10 年ほど前から理事会を「学内の色々な立場の人が集まる場」にしたいと考え、応援団・災害ボランティア団体などの学生団体からも理事を選出し理事会に参加してもらっています。当時進められていたレジ袋削減・エコバッグ作成のプロジェクトに大学生協が支援・出資していた繋がりから、環境 ISO 学生委員会にも同様に理事会に参加してもらうことになりました。

◇理事会での報告◇

主に前回の理事会以降の活動内容を報告します。

例…○海岸清掃をしました！

（三重大は海のすぐそばにあります）

○新エコバッグのデザインの選考を行いました！

○地域の子供向けイベントでブースを出し、
工作を通してリユースを体験してもらいました！

○ISO14001 の更新審査を行いました！

○Twitter を始めました！

○エコキャップの譲渡を行いました！

○来月古本市を開催します！



報告書はわかりやすくまとめられています！

◇これからの展望 ～専務に聞いてみました～ ◇

最近では報告中心になっていて、質問や話し合いが少なくなっているのが現状。学内でどの団体がどんな活動をしているのかを知ること自体大きな意味がありますが、それぞれがもっと混ざり合うといいな、と思います。環境 ISO 学生委員会と生協学生委員会と一緒に活動できると面白くなりそうですね。環境 ISO 学生委員会にはこれからも理事会に参加してほしいです！

記事を書いてみての感想、読者のみなさまへ一言

意外と自分の知らないところで様々な団体による様々な活動が行われています。

環境活動のみならず、他団体の活動をお互いに知る機会を持つことで

お互いの活動への理解・協力も増えていくのではないのでしょうか。



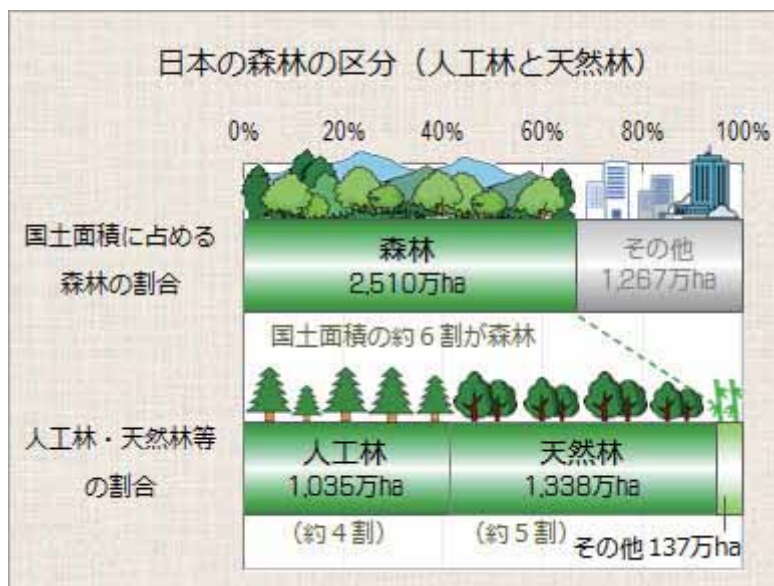
これ知っとコーナー!!

このページでは、環境活動を行う上で、「え？そうなの?!」というような情報を掲載しております。

■日本の森林事情

●意外と日本には木がいっぱいある？

今日では、「森林伐採はいけないこと」という考えを持つ人が多いですが、実は日本の森林は約 2500 万 ha あり、そのうち約 1300 万 ha (約 5 割) が天然林、1000 万 ha (約 4 割) が人工林、残りが無立木地、竹林なんです。国土面積 (3779 万 ha) に占める森林面積 (2510 万 ha) は約 66% (森林率約 7 割) と、先進国の中でも有数の森林大国なのです！



天然林…自然の力によって発芽し、育ち、森林として成立もの
人工林…将来の木材として使うために、先人たちが苗木を植えて、
人の手で育てる森林でいわば木の畑。育成林ともいう。

●森林率(国土面積に占める森林面積)の世界ランキング(先進国)※世界平均 31.0%

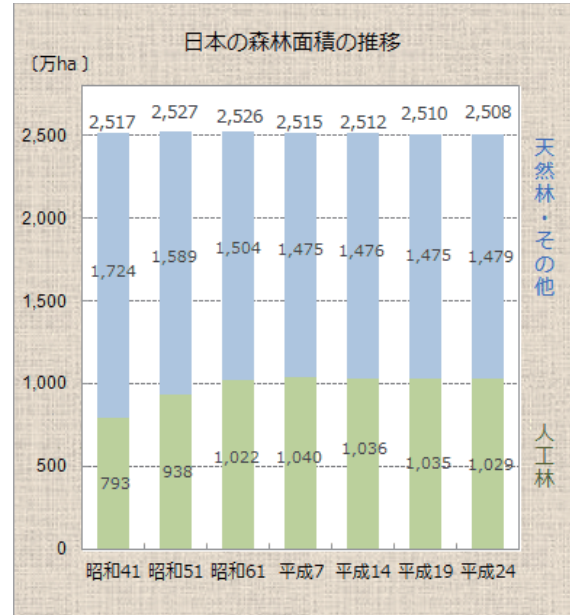
フィンランド 72.9%
スウェーデン 68.7%
日本 68.5%
韓国 63.0%
ロシア 49.4%

●実は、日本の森林は 40 年間増減していない？！

日本国土の約 7 割を占めている森林面積は約 2500 万 ha で横ばいであり、過去 40 年間森林面積の増減はありません。

→データの出所：林野庁「森林資源の状況(平成 24 年 3 月 31 日現在)」

しかし、森林面積とは違い、森林蓄積は増え続けているんです！森林蓄積とはいわゆる「森林を構成する樹木の幹の体積のこと」で日本の森林資源の量を見る目安にもなります。ここ数年で、人工林の蓄積増加が目立っており、使える森林資源が増加してきていることを示しています。



●森林大国ではあるが…

日本は他国と比べて自国の森林資源を使っていないのが現状なんです。森林面積が増えてないにもかかわらず、人工林の森林蓄積が増え続けている理由は、現在は戦後に生産目的で植林した木々（人工林）が成長し、収穫期を迎えているというのと、さらに輸入材が増えているため、日本の森林資材が使われずに、置き去りにされているからです。日本で年間に利用する木材のうち 7 割以上は輸入材だそうです。

日本は森林資源については乏しいわけではなく、使われずにいるというのが現状だったんですね。。。



●なぜ手入れがされないのか？

手入れがされていないのは、人工林の場合、林業の衰退が原因とされています。林業を行っている地域の過疎化と高齢化の進行、外国から安い木材が安定的に仕入れることができるからなんです。

天然林の場合ですと、昔と違い、森を使用しない生活になっていることが原因として挙げられており、エネルギー革命や化学肥料使用が普及しだし、森が使用されることがなくなってきたことがあげられます。

●放置されることはダメなことなの？

現在の日本の森林は十分な手入れがなされず、荒廃が目立つようになりました。荒廃した森林は、公益的な機能を発揮できず、台風等の被害を受けたり、大雨等によって土砂災害を起こしやすくなります。さらに二酸化炭素を吸収する働きも低下し、温暖化防止機能も低価します。

森林は高齢な木よりも若い木のほうが成長が盛んなため、温室効果ガスのCO₂を多く吸収し、**森林の資源の世代交代は地球温暖化防止につながります。**森林に対する地球温暖化に向けた期待は大きく、CO₂をはじめとした日本の温室効果ガスの排出削減の目標のうち3分の2は森林が担っているのが現状です。

今の日本は森林資源を次世代に残すこと、地球環境保全のためにも森林資源を循環させるため人工林を適切に伐採、利用、植林することが大事です！森林の伐らないで守ることが必要なのは海外の熱帯林の事情。。日本は成長した森林を生かすべきなのです!!!

■日本の木材を有効活用しているもの…それが…割り箸。

●割り箸は実はエコ？

そもそも割り箸とは、割り箸は木材（建築材、家具材 etc.）として使われないスギ、ヒノキなどの部分を有効活用するために生まれたアイデア商品です。

●間伐材割り箸

森林は伐採して植林して適切に管理すれば次の世代に残せる持続可能な資源です。

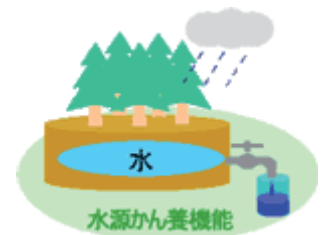
適切に管理というのは、人工林では木が成長したとき、森林が混み合っ、枝や葉を広げられず、お互いの成長を阻害しあい、実は木が元気に育ちません！また、太陽光が地面まで十分に届かないので、草木が育ちやすい環境ではありません。

つまり、**森林の持つ公益的機能が十分に発揮されないのです！！**そうならないために、一部の木々を伐採します！！これが「間伐」です！



●森林が持つ力!!

緑のダム …森林に降った雪や雨は、土壤に浸透し、ゆっくり麓へ流れます。このため、洪水や渇水が緩和されたり、澄んだ美しい水がでたりします。ろ過の役割を果たす土壤は落ち葉や土壤微生物のおかげで作られるんです。



土壌災害防止…森林の表土は落ち葉などの堆積物や草や低木などがあるため、地面が直接雨に打たれにくくなったりするため土壤が大量に流れることを防ぎます。森林を裸地を比較した場合、土砂が流出する量は森林では裸地の1/150との報告もあります。



地球環境保全…地球温暖化をもたらす過剰な二酸化炭素を森林は、光合成によって吸収し、貯蔵します。日本の森林が光合成によって吸収する二酸化炭素は年間約1億トンで、これは日本における二酸化炭素排出量の約8%、国内の全自家用乗用車の排出量の約7割に相当します。

参考文献

<http://www.shinrin-ringyou.com/topics/waribashi.php>



<MEMO>









**編集・発行：全国大学生生活協同組合連合会
全国環境活動推進委員会**